



国立犀潟療養所附属リハビリテーション学院

〔所在地〕 〒 949-31 新潟県中頸城郡大潟町犀潟 468
の 1
〔電 話〕 0255-34-3131
〔学 科〕 理学療法学科・作業療法学科
〔学 生 数〕 120 名 (各学科 1 学年 20 名)
〔募集人員〕 各学科 20 名
〔倍 率〕 昭和 55 年度理学療法学科 19 倍, 作業療法
学科 11 倍
〔修業年限〕 3 年 (昼間)

沿革と設立の目的

当学院は昭和 52 年 4 月, 国立療養所附属リハビリ学院
院としては東京病院, 近畿中央病院に次いで第 3 番目に
開校した。

場所は上越市の近郊で日本海にほど近い国立犀潟療養
所の敷地内にあり, 広さ 4 万坪の黒松の林の中に静かな
たたずまいをみせている。

親病院である犀潟療養所は, 現在精神病棟, 神経内科
病棟, 特殊小児病棟, 身体障害者リハビリ病棟を有し,
また機能訓練棟・作業療法棟を備えた医療機関であると
共に, 学生の臨床実習の場としての機能も備えている。

学院設立の主旨: 当学院開校以前には東京以北にリハ
ビリ学院が全くなく, そのため新潟はもとより東北・北
信越の近県をとっていても理学療法士・作業療法士が極
めて少ないところから, リハビリの後進地域と言わざる
を得ない状況にあった。そこで, このような状況を打開
し, この地域で, さらに全国各地で活躍できる人材を廣
く求め, 広い人類愛に基づいた深い専門的知識・技術を
修得した療法士を養成し, 日本のリハビリ発展に寄与す
ることを目的として当学院が設立された。

教育内容と学生生活

カリキュラムは, 基本的には厚生省教育基準に準じて
いるが, さらにいくつかの科目と時間数を補足し, さら
に授業方法を工夫し, より充実した教育を目指してい
る。

一般教育科目は人文・社会・自然科学系, 英語・保健
体育があり, 講師のほとんどを新潟大学教育学部の教授
陣に依頼している。また専門科目は基礎医学系, 臨床医

学系共新潟大学医学部の全面的な協力を得ながら進めら
れている。理学療法・作業療法の専門科目は学院専任教
官と各方面からの非常勤講師が担当し, 両学科とも 1 学
年前期からカリキュラムに組み入れ, 卒業時まで適当
に, 継続的に配分している。

教育全体の中でも重要な位置を占める臨床実習は, 新
潟地区を中心に北海道から静岡に至るまでの各施設の援
助・協力を得ながら順調に実施されている。

さて最後に学生生活に少しふれよう。学生は北海道か
ら沖縄まで全国各地から集まっており, 「原則として全
寮制」という生活の中で, 各々の学生が持つ地理的・文
化的な, そして年齢的な背景から生まれる行動パターン
の差異に, 少なからずとまどい合いながらも極めてなご
やかな雰囲気につつまれている。

周囲は海, 山, 田園という自然環境に恵まれ, 学校行
事として夏はキャンプ, 冬はスキーを催すほか, 広い敷
地の中にはテニスコート 2 面・野球場・体育館等の施設
があり, 学生は自然と親しみながら, 勉学にそしてスポ
ーツに, 健康的な生活を送っている。

なお, 55 年 3 月に第一期理学療法学科 18 名, 作業療
法学科 15 名が巣立ち, それぞれの施設で活動し始めた。

(作業療法学科 金子 翼)

(理学療法学科 土田 精)